

障害者シンクロサークル

“全国”へ熱く練習

御船町

身体障害者や知的障害者のシンクロロナイズドスイミング全国大会（9日、京都市）

に出場する「ネオUDサークル」（熊本市）のメンバーが3日、御船町スポーツセンターのプールで本番に向けた集中練習を始めた。

同サークルは障害者と健常者が一緒にスポーツ活動に取り組んで

おり、シンクロは熊本市などで週1回練習している。

障害者シンクロは水中で足をつくことができ、介助者も一緒に参加できる。全国大会出場は4年連続。今年チーム競技の2部門に9人が出場する。

集中練習は5日まで。御船町の協力を得て、3時間の練習のう

ち1時間はプールを貸し切り利用する。初日は「サンバおてもやん」など計2曲に合わせて、各選手の位置取りや水中から手を上げる演技などの一体感を確認した。

「3日間の練習で演技の完成度を高めた」と同サークルの大塚貴裕代表（33）。全国大会は初めてという選手山隈大生さん（16）は「途中で失敗しても楽しい演技を見せたい」と張り切っている。

（野方信助）



シンクロ大会に向けて練習に励む「ネオUDサークル」のメンバーら＝御船町